

令和4年 4月 26日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

苫小牧消費者協会
会長 山内 幸子

ゲノム編集食品「高 GABA トマト」の苗の受け入れ反対の要請書

ゲノム編集技術は、特定の遺伝子を破壊して行う生命の改造です。いま、日本で初めてのゲノム編集食品「高 GABA トマト」の販売が始まりました。

GABA は血圧を下げるなど健康に良いと言われる物質です。しかし、ゲノム編集については、標的以外の様々な遺伝子が破壊されるオフターゲット問題があります。遺伝子は生命活動の基本であり、壊してよい遺伝子などありません。

予期せぬ遺伝子の破壊により、新たな毒性やアレルゲン、がん誘発物質の発生が危惧されます。ゲノム編集が行われたことを確認するための抗生物質耐性遺伝子も含まれています。食品応用には厳格な検査と規制が必要です。にもかかわらず、日本政府は、環境影響評価や食品としての安全性審査、表示も義務づけていません。一方で、特許は認められるので、遺伝子組み換えと同様に莫大な利益を企業にもたらします。

「高 GABA トマト」を販売するパイオニアエコサイエンス社は、2022 年から全国の福祉施設や小学校などに苗を無料配布し、子どもたちに栽培させようとしています。子どもたちを育み、環境と命を守るために、苫小牧市に苗の無料配布の受諾の伺いがきた折には、受け取りを断って頂きたく、お願い申し上げます。